

**1 日目 : 2018 年 10 月 27 日 (土) 10 時~17 時 20 分 (予定) (敬称略/シンポジウム演者五十音順)**

10:00-	開会の挨拶	玉木敦子 (第 15 回日本周産期メンタルヘルス学会学術集会 大会長)	メイン会場
10:05-10:45	会長講演	座長; 岡野禎治 (日本周産期メンタルヘルス学会 理事長) <b>「妊産婦に『寄り添う』ということ」</b> 演者: 玉木敦子 (神戸女子大学看護学部 教授)	メイン会場
10:55-12:15	シンポジウム①	座長; 新井陽子 (北里大学看護学部生涯発達看護学) 座長; 笠井靖代 (日本赤十字社医療センター産婦人科) <b>「妊産婦や家族の思い: 周産期メンタルヘルスに求められているもの」</b> <b>「発達障害の特性のある親のニーズと支援を考える — 自閉症スペクトラム障害の方への支援を通して—」</b> 演者; 大橋優紀子 (北村メンタルヘルス研究所: 看護師) <b>「妊産婦やその家族の思い、ニーズ: 産後 2 週間健診をふまえて (仮)」</b> 演者; 小澤千恵 (埼玉医科大学総合医療センター 総合周産期母子医療センター: 助産師) <b>「産後うつ病を経験した母親の思い、ニーズ」</b> 演者; 高橋秋絵 (神戸女子大学看護学部看護学科: 看護師)	メイン会場
12:30-13:20	ランチョンセミナー (共催; ホリスティックケアプロフェSSIONALS スクール)	座長; 工藤美子先生 (兵庫県立大学看護学部教授) <b>「妊娠や育児ストレスに対する臨床アロマセラピーの可能性」</b> 演者; 相原由花先生 (ホリスティックケアプロフェSSIONALS スクール 学院長)	第 2 会場 を予定
ランチョンセミナー終了後、メイン会場で総会・評議員会を行います。 日本周産期メンタルヘルス学会の正会員・評議員・理事の皆様はご出席をお願いいたします。			
13:30-13:50	総会・評議員会	正会員 (評議員・理事を含む) は、必ずご出席ください	メイン会場
14:00-15:00	基調講演	座長; 鈴木利人 (順天堂大学医学部附属 順天堂越谷病院メンタルクリニック 教授) <b>「周産期精神医学の歴史を振り返って」</b> 演者; 岡野禎治 (日本周産期メンタルヘルス学会 理事長)	メイン会場
15:10-17:20	シンポジウム②	座長; 胡内敦司 (松戸市 総合政策部 兼 子ども部 兼 教育委員会学校教育部 : 審議監) 座長; 渡邊博幸 (木村病院/千葉大学社会精神保健教育研究センター : 精神科医) <b>「妊産婦のこころを支える: さまざまな場と専門職の役割」</b>	メイン会場

		<p><b>「妊産婦のこころを支える：リエゾン精神看護専門看護師の役割と支援（仮）」</b>      演者；安藤光子（滋賀医科大学医学部附属病院：精神看護専門看護師）</p> <p><b>「妊産婦のこころを支える：ソーシャルワーカーの役割（仮）」</b>      演者；小林喜実代（尼崎総合医療センター地域医療連携センター      ：医療ソーシャルワーカー）</p> <p><b>「妊産婦のこころを支える：精神科医の立場から」</b>      演者；清野仁美（兵庫医科大学精神科神経科学講座：精神科医）</p> <p><b>「子育て世代包括支援センターにおける保健師の役割」</b>      演者；藤原美輪（兵庫県加古郡稲美町 健康福祉部健康福祉課健康推進係      ：保健師）</p> <p><b>「産後ケアにおける助産所・助産師の役割（仮）」</b>      演者；毛利多恵子（毛利助産所：助産師）</p> <p><b>指定発言</b>      演者；胡内敦司（松戸市 総合政策部 兼 子ども部 兼 教育委員会学校教育部      ：審議監）</p>	
18:30-	懇親会	<p>神戸ポートピアホテル 本館 2 階イタリアンレストラン『SOCO』      (学術集会会場の建物とは異なります)</p>	

2日目：10月28日（日）9時～15時40分（予定）

（敬称略／シンポジウム演者五十音順）

9:00-10:40	シンポジウム③	<p>座長；鈴木利人（順天堂大学医学部附属 順天堂越谷病院メンタルクリニック：精神科医）</p> <p>座長；西郡秀和（東北大学病院周産母子センター：産婦人科医）</p> <p><b>「今あらためて注目したい：明日の周産期メンタルヘルス治療のために」</b></p> <p>「てんかんを持つ患者の周産期メンタルヘルス管理： 『発作は？ 遺伝は？ 薬の子供への影響は？』患者の不安にどう向き合うか」 演者；加藤昌明（むさしの国分寺クリニック：精神科医）</p> <p>「周産期の向精神薬薬物療法：どこまで理解され、これからの課題は何か？」 演者；鈴木利人（順天堂大学医学部附属 順天堂越谷病院メンタルクリニック：精神科医）</p> <p>「産科医による周産期メンタルヘルス治療：どこまで取り組み、どこから連携するか？」 演者；宗田聡（広尾レディース：産婦人科医）</p> <p>「虎の門病院「妊娠と薬相談外来」の歴史：過去、現在、そしてこれから」 演者；山根律子（虎の門病院薬剤部：薬剤師）</p>	メイン会場
10:50-11:50	特別講演	<p>座長；佐藤昌司（大分県立病院 副院長 同 総合周産期母子医療センター 所長・産科部長）</p> <p><b>「妊産婦の自殺の実態とメンタルヘルス支援体制の充実に向けて」</b> 演者；竹田省（順天堂大学医学部産婦人科 特任教授）</p>	メイン会場
13:00-14:00	ポスター発表	セッションごと、座長を設けての発表と質疑を行う予定です	ポスター会場
14:10-15:30	特別企画	<p>コーディネーター；富田拓郎（中央大学文学部心理学専攻）：臨床心理士</p> <p><b>「流産・死産を経験した女性と家族の体験、ピアサポート（仮）」</b></p> <p>&lt;調整中&gt; 詳細は決まり次第更新してお知らせします。</p>	メイン会場
15:40-	閉会の挨拶		メイン会場